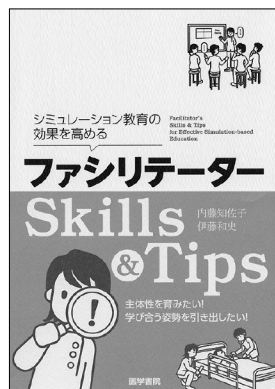


『シミュレーション教育の効果を高める
ファシリテーター Skills & Tips』本当に知りたい
マインドとスキルを
わかりやすい言葉でお届け！著：内藤知佐子・伊藤和史／定価：本体 2,600 円＋税
発行：医学書院／TEL：03-3817-5657

シミュレーション教育をやってみみたいけど難しそう、何から始めればいいのか。そんなとき、真っ先に読みたい書籍が発売された。著者は、“愛のある学びの循環”をテーマに、幅広くファシリテーターや看護職の育成を行っている内藤知佐子先生と、同じく人材育成とシミュレーション教育のエキスパートである伊藤和史先生である。

本書は、プロローグ「学習者の主体性を引き出す指導者像」から始まる。ここでは、看護教育にファシリテーターマインドが必要な理由、ファシリテーター型指導者になるための7つの心構え、成人教育の5つのコツが書かれている。本編は、4つの章に分かれており、第1章は「シナリオ作成」、第2章は「ブリーフィング」、第3章は「セッション」、そして第4章は「デブリーフィング」である。各章は、「手順とスキル活用マップ」「必要なスキル」「各スキル実践法の解説」の3部構成になっており、全体の流れを把握し、各場面に必要なスキルを確認してから、実践のための具体的な活用方法がわかる仕組みになっている。

まず、必ず読んでいただきたいのがプロローグである。ここで内藤先生は、ファシリテーターを1本の樹にたとえ、樹でいちばん大事な根にあたる部分がファシリテーターとしての心構え、幹が看護観や教育観、枝葉の部分がスキルであると述べている。根を十分に張り、幹を太くしなければ

せっかくのスキルも活かせない。How to ばかりが大きい今にも倒れそうな樹＝指導者にならないために必須となる、指導者マインドに関する内容がクイズ形式でわかりやすく解説されている。

本編の各章では、内藤先生のこれまでの実践から蓄積されたノウハウが惜しげもなく披露されている。たとえば、第4章「デブリーフィング」では、進め方として、指導者の問いかけと学習者の反応、双方のやり取りがセリフ形式で書かれており、目の前で内藤先生がシミュレーションのセッションを行っているような気持ちになる。これからシミュレーション教育に挑戦する読者が本当に知りたいことを、詳細に具体的な言葉で説明されていることは本書の大きな魅力となっている。本文のキーワードとなる教育技法や用語については、伊藤先生による解説(Ito teacher's Lecture)があり、読者の理解を助けてくれる。過不足ない解説は本書のアクセントとなり、内容に深みを与えている。解説を拾い読みするのもおすすめである。

本書で紹介されているファシリテーターマインドとスキルは、シミュレーション教育以外のあらゆる看護教育にも共通するエッセンスであり、患者指導や学生指導、授業などにも活用できる。それだけでなく、同僚や友人、家族との人間関係をよりよくするためのヒントにもなるだろう。ぜひ、手に取っていただきたい良書である。